

# サイエンスへの挑戦を楽しんで

日本から代表選手を派遣している科学のオリンピックは、数学、物理、化学、生物、情報、地学、地理の七つの分野です。各分野のオリンピックに代表を派遣する事業を行っている七つの団体が平成30年4月に協定を結び、設立したのが「日本科学オリンピック委員会」（略称JSO C : Japan Science Olympiad Committee）です。ロゴは七つの団体がつながりながら広がっていくことを表しています。JSO Cの目的は、ロゴのように、七つの団体が一緒になって横断的な広報活動を行い、オリンピック活動全体に対する社会の理解と支援を充実させていくことです。

七つの団体から運営委員が集まって議論をし、共同でイベントの企画・実施を行っています。例えば、幾つかの分野の科学オリンピックに挑戦した人々が語り合うようなワークショップでは、意外に分野が違っていても通じるものがあることが分かります。写真は昨年秋に行われたオンラインイベントで、数学、物理、生物学のオリンピックに参加した人々と女子高校生をつなぐトークショーのシーンです。また、科学オリンピックに挑戦する

る前段階にある小学生向けのサイエンス・ラボラトリなども実施しています。これまでの活動の記録は本サイト([ps://www.jsf.go.jp/cpsf/contest](http://ps://www.jsf.go.jp/cpsf/contest)) / [student.committee/activity.htm](http://student.committee/activity.htm)

## 輝く力 国際科学オリンピック



科学オリンピック

JSO Cの  
ロゴマーク



### 国際科学オリンピック

メイン会場：東京秋葉原スタジオ

サテライト会場：清真学園高等学校



「科学」×「日常」

近藤さん「科学」×「社会」 野田さん

昨秋、JSO Cが実施した  
オンラインイベント

）をご覧ください。イベントなどの情報は随時ツイッター([https://twitter.com/JSI\\_SciOlympiad](https://twitter.com/JSI_SciOlympiad))に掲載しています。社会への広報活動だけでなく、JSO Cでは、中学・高校生の科学力を高めるために各教科の団体で行っているさまざまな活動を互いに紹介し合い、それぞれの活動に生かしてきました。そして、今後は「科学（サイエンス）」には境界はない」ということもアピールしていきたいと思っています。一つの分野に挑戦することで、他の分野にも通じる力を得ることが出来ます。人によっては、同時に複数の分野に挑戦する人もいます。ぜひサイエンスへの挑戦を楽しんでください。

今後、本連載では七つのオリンピックの活動をリレー形式で紹介していきます。  
(北原和夫・日本科学オリンピック委員会運営委員会委員長)